



# ささき しげ のぶ 重信

## 生い立ち

- 昭和15年1月29日生現83歳、父(84歳)農業、母(108歳)教諭
- 宇都宮大学卒、農林省勤務、幼稚園、保育園、老人ホーム創設
- 市議、県議を経験し、教育と政治の大切さをかかげる
- 幼には野球、サッカーに熱中、今は書道とブナ林散歩
- 人生訓 誰にも良さあり強く優しくを最後まで頑張る

## 市政を思い発言する会

- 令和3年9月14日真岡市庁舎401会議室で16名の会員で発足
- 会長 佐々木重信
- 会則 宗教やイデオロギー、政党に関係なく市政を思い発言し、より良い真岡市へ寄与することを目的とする
- 所在 真岡市東郷457-1 電話 0285-82-1255

# 思いや考えが発言できる夢・希望・誇りある真岡市に

習氏のような独裁は沢山です

市民みんなが声を出せる、そんな市になって欲しいです。

真岡市が遅れていると悲観しないで

良いところが沢山あります、その良さを発進しましょう。

市長は執行権、人事権があり権力者です

寄付は貰わず地元の業者に仕事を与え発展させましょう。

郵便はがき

3 2 1 4 3 0 4

切手を貼って  
R.6.6.20まで  
に投函して下さい。

真岡市東郷四五七一

市政を思い発言する会 行

いたみの分る  
市民のための  
真岡市を  
つくりましょう

(市民の声から)



(※切手不足分は会で払います。)



# 真岡地区の皆さん

寺内地区に産業団地を造成していますが、真岡地区の皆さんこれで良いのですか。知恵と行動が必要です。“なせば成る なさねば成らぬ 何事も”です。

●東京から100kmの好条件を生かし、医療福祉系の大学やドローン技術や航空の知識を学ぶ専門学校又は外国人労働者受入れの専修校や若い人達に関心あるIT関連企業等、真岡市の発展に直結する団地に整備することです。職員と市民の知識と意欲が、子ども達に夢と希望と誇りを与えます。そんな素敵な教育と文化があって、災害の無い豊かな自然に囲まれて、素敵な企業が立地している。1度は住んでみたいと思われる真岡市にすることです。

●真岡の歴史や文化を子ども達や市民に広めましょう。例えば、流鏝馬の中村八幡宮周辺の整備に加えて、由緒ある神社仏閣の再認識につとめて、郷土愛を育ませることです。かつ真岡市の良さの発見と普及に勤しみを以って研鑽する時が今来ているのです。即ち、親鸞聖人の専修寺や二宮尊徳をまつる桜町神社に勝道上人の仏生寺等を生かしあう皆の真岡市にすることです。

# 二宮地区の皆さん

生活に直結するインフラの整備ですが、二宮地区の皆さんこれで良いのですか。市民の目線で市政は行っていかなければなりません。

●即ち、生活に欠かせない生活道路ですが狭く舗装されていない車落ちそうな道路が真岡地区と比べて、二宮地区には多過ぎます。早急に整備が必要です。

●水道及び下水は、生活水準のバロメーターですが、普及の遅れの甚だしい二宮地区では長沼地域を中心に合併処理方式によって整備が進められているが、合併処理では不具合が生じると言われております。環境にも良くありません。下水は一般的下水道方式にすべきです。

●二宮も真岡も同じです。例えば、石坂市政7年間で東運動公園73億円、新庁舎84億円、庁舎周辺43億円。計200億円の予算支出です。この様な大きな事業がすべて真岡地区です。二宮地区にはありません。二宮と真岡が共に発展が実感できる予算にするのが市長の職務です。その為にも悲願であるインターチェンジを実現し、夢と希望と活気を二宮に与えましょう。

キ-----リ-----ト-----リ-----

『市政を思い発言する会』ご入会申込書

ご本人	(〒 ) 住所	
	ふりがな	お電話
	お名前	
ご家族	お名前	
	お名前	
ご意見		

( 紹介者 )

市長は、市政を思い発言する会の『寄付なくも地元業者の仕事』の提言を理解されたのだろうか

市長は、議会において政治団体への寄付は問題ないと答弁しておりますが、選管の発表によると、真友会など市長に関する三つの政治団体の寄付金等の総額が、市長就任の平成二九年から令和三年までの五年間で、五千三十四万円もの大金でした。これほど巨額のお金が政治団体に寄付されていること、これで市政が歪められなければ良いですが心配される状況であります。

先進地の市長は、政治団体へ寄付金は頂いておりません。それが特別職として良識ある市長像であります。私達の市長もそうあって欲しいとの『市政を思い発言する会』の提言でした。議会での質問も同じでした。即ち、より良い市長になって欲しいと諭した質問でした。

以上の如く正しいことは正しいとの信念をもって、子ども達の笑顔と市民の幸せのために、お医者さんから保証された一〇年の生命を生かききって、市民に寄り添った市政へ正して参ります。

佐々木重信